

ハワイ大学の活動

ハワイ大学では歌舞伎上演のためにいろいろなプログラムを進めています。

まず、上演演目が決まると

①日本語でのセリフのお稽古をします。

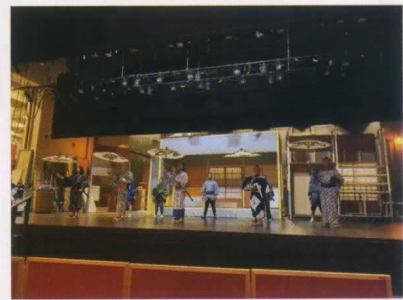
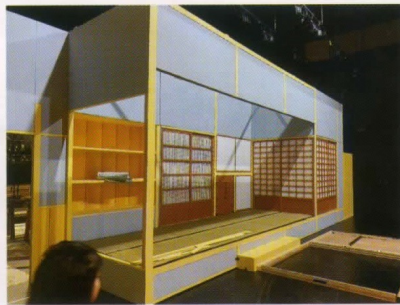
これは歌舞伎のセリフ独特の言い回しを身に着けるためです。

十分に、理解した後に、その言い回しに合うように翻訳された英語のセリフでお稽古をします。

②振付は代々プロの歌舞伎の方が入っていますが、今回は市川門之助丈が全面協力で指導を担当しています。

③三味線や唄、浄瑠璃などもプロの指導でお稽古します。

日系のプロの方や日本からもプロの指導者が入っています。



④衣裳や小道具、大道具も自分たちで揃えます。

大学内には、プロの歌舞伎巡業の一行が残していった衣裳やかつらがたくさん保管されています。その中で使えるようなものをピックアップしたり、新しく作ったりもします。美濃歌舞伎では衣裳方や大道具方の研修生の受け入れをしたり、衣裳制作などのお手伝いをさせていただきました。

⑤着付けや化粧も自分たちでします。

歌舞伎公演が終わったあとは、観客も含め全員でかたづけをするのが恒例となっています。これは、観るだけ、観るせるだけの歌舞伎ではなく、皆さんが文化を守ろうとする思いの証なのでしょう。私たちも見習いたい所です。

⑥ハワイ大学の構内にあるケネディーシアターは歌舞伎ができるように花道もついた、立派な劇場です。今年は4月末に上演があり大盛況で終了いたしました。

